

8年間、アパレル店で接客 Sさん・燦燦(岐阜市)



「次の8年は介護を極める」

高校を卒業してから昨年8月に燦燦に就職するまで、お客さまに慕っていただく時、真っ先に思い浮かんだのは、やりがいを持って働ける、お客さまに慕っていただくのが介護の仕事でした。

8年間は、若者向けアパレル店で働いていて、最後、何を目標としたらいいのかわからなかった。店に並んでいる服が大好きでしたし、たくさん他にしたい仕事はと考えた。高校は服飾デザイン科

と福祉科で迷ったほど。結れたときはとてもうれし
局、服飾デザイン科に進んで、心強く感じましたね。
だこともあり、アパレル店 介護職員初任者研修は今
員になるという夢を先にか月、修了できました。

なえました。ですので周囲 私のお店は店長であ
からは「介護職をするタイ ってもパート扱いでした。
プではない」などと言われ 今は正職員で、休みはしっ
ますが、自分の中では自然 かりともえ、税金等の手
な流れだと感じています。 続きは職場がしてくれま

そして母の知り合いに幸 ます。私にとって当たり前で
紀会で働いている方がいた はなかったことですので、
縁で燦燦へ見学に行き、安 ありがたく感じています。

江紀子理事長に「8年間も アパレル業界に戻りたい
続けてきたことがあるなら という気持ちはありません
「ここでも頑張れますよ」と が、働いた年月はかけがえ
声を掛けていただけたこと のない時間だったと胸を張
に勇気をもらい、転職を決 ってください。私の自慢で
めましました。 す。介護でも、アパレルと

最初の頃は特に、わから 同じ位の時間を過ごせば見
ないことばかりで戸惑いも えてくるものもあるのでは
ありませんが、優しい先輩 と思っていますので、まず
方に恵まれて頑張っています。8年間続けることを目標
す。先輩が以前、介護用語 に、日々の業務を頑張っ
をメモ帳に書いて渡してく いきたいです。